

2023年3月14日

女性の活躍を支える健康支援策の拡充について

～HPVワクチン接種・女性特有のがん検診受診の後押しや相談ホットライン・更年期休暇の新設～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、女性従業員のさらなる活躍を後押しすべく、女性特有の健康課題を支える支援策を順次拡充・推進しています。

女性には、生涯を通じてホルモンバランスが変動することで、年代やライフステージごとに異なる健康課題があり、多くの方が日常生活や仕事への支障を抱えています。当社では、女性従業員一人ひとりが生涯にわたって最大限に能力を発揮できるよう、ライフステージに寄り添った包括的な支援を行なっています。

今後ますます多様化するライフスタイルや働く期間の長期化をふまえ、女性特有のがんの予防・早期発見につながる機会の創出に取り組むとともに、2023年4月からは女性特有の健康課題を支援する婦人科専門外来・専用相談ホットラインや更年期障害にかかる休暇制度を新設しました。また、周囲の理解が欠かせないことから、男性や管理職をはじめとした全従業員向けの女性の健康リテラシー教育を強化します。

今後も、従業員の心身の健康づくりに向けた健康経営の取組みを通じて、女性従業員が生き生きと働きやすい職場を実現し、従業員の働きがいやエンゲージメントを高めることによって、お客さまサービスの向上に努めてまいります。

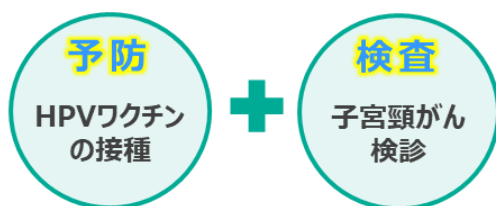
1. 女性特有のがんの予防・早期発見の取組み

HPVワクチン接種、がん検診受診の後押し

女性を取り巻く環境が変化するなか、罹患率が増加傾向にある乳がんや子宮頸がんに関する情報提供を行なうとともに、2022年から検診の受診を後押しするため検診費用の全額補助を実施しており、多くの早期発見・早期治療につながっています。

また、子宮頸がんの発症リスク低減に向けた取組みとして、HPVワクチンの接種に関する啓蒙を行ない、男性にも効果が認められていることから、性別を問わず接種費用の一部補助（25,000円）を実施しています。さらに、2023年4月からは、MYリンクコーディネーター等（営業職員）が地域社会のみなさまへHPVワクチンに関する情報提供活動を行ない、HPVワクチン接種の普及に貢献してまいります。

【予防と検査の両輪体制で推進】



【女性特有のがんの検診受診率】

検診	2021年	2022年
乳がん	32.4%	+32.0 → 64.4%
子宮頸がん	5.2%	+48.3 → 53.5%

※2023年3月までの受診予定を含む

【ご照会先】
広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

ひとに健康を、まちに元気を。

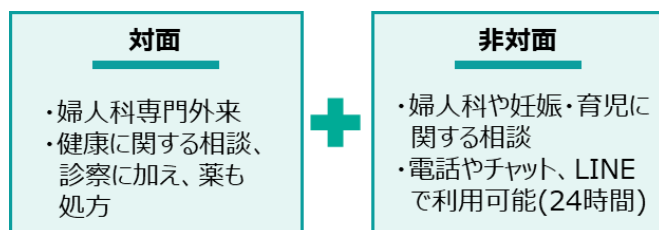


2. 女性の健康相談への取組み

専用ホットラインの新設

女性の生涯を通じた健康をサポートするため、女性特有の身体的・精神的な悩みについて、女性医師が対応する婦人科専門外来を社内診療所内に新設するとともに、社外の産婦人科医や小児科医等の専門医にいつでも気軽に相談可能な健康相談ホットラインを新設しています。

【健康相談体制】



3. 仕事と治療の両立支援の取組み

仲間同士が支えあう「ピア・サポート・ボンド」の展開

女性特有のがん等の病気に罹患してもキャリアを続けていくためには、働き方の選択だけでなく、共に支え合い、励まし合う仲間の存在が重要と考えています。2022年度には、重度疾病治療と仕事の両立を共有する場として、治療経験者ネットワーク「Peer Support Bond (ピア・サポート・ボンド)^(注)」を設立し、一部メンバーで活動してきましたが、2023年度からは交流会参加者を全国から集い、さらに活動規模を拡大してまいります。

(注) 同じ共通項と対等性をもつ人同士(ピア)が支え合うつながり・絆



オンラインで定期的に、お互いの体験談や治療と仕事の両立について共有を図っています

更年期障害休暇制度の新設

40歳以上の従業員の約半数が更年期障害に課題を感じており、その約7割が仕事に支障を感じているという現状をふまえ、更年期障害による体調不良の際に安心して仕事を休めるよう、「更年期障害休暇制度」を新設しました。なお、更年期障害は女性のみならず男性にも発生するため、性別を問わず利用できる制度となっています。

以上

【女性の健康支援策の全体像】

参考

